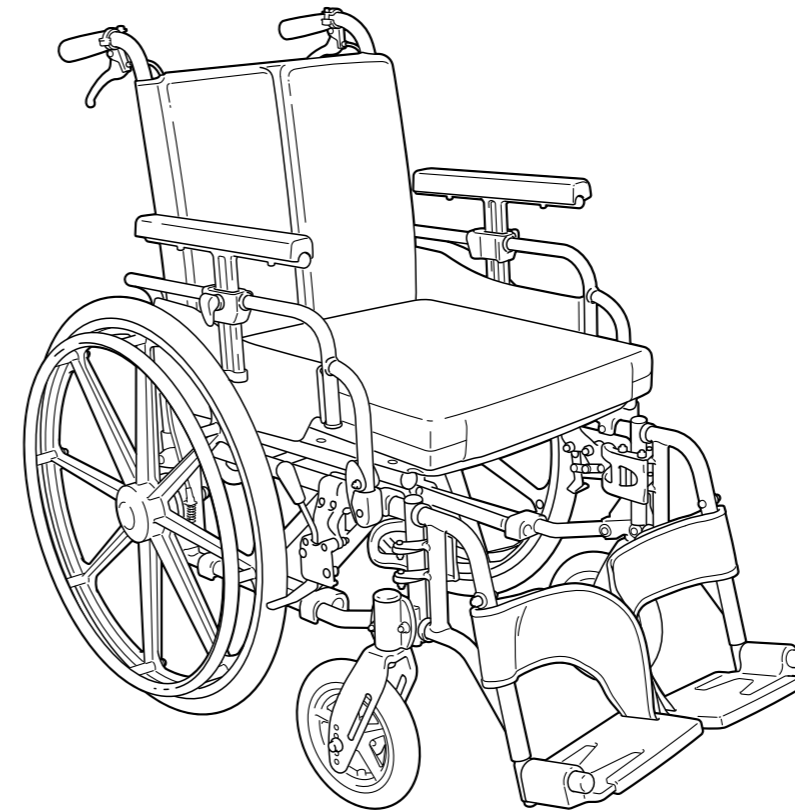


KJP-4

取扱説明書



目次

安全上のご注意	2
各部のなまえ	5
使いかた	6
ブレーキのかけかた	6
車いすの開きかた/たたみかた	7
乗り降りのしかた	8
スイングアウトフットレスト の開閉・取り外し	9
アームレストフレームの跳ね上げ	9
各部の調節のしかた	10
座面の高さ調節	10
背シートの張り具合調節	12
ステップの高さ調節	12
アームレストパッドの高さ調節	13
押し手の高さ調節	13
使用上のご注意	14
保守・点検	14
走行上のご注意	14
段の上がりかた	15

はじめに

この度は、弊社製品をお買い求め頂き、誠にありがとうございます。

ご使用前に本書を必ずお読みになり、十分に理解をした上でお使いください。また、本書はいつでもご覧になれる所に大切に保管しておいてください。

車いすの廃棄については、最寄りの行政担当窓口におたずねください。

製造元


株式会社 ミキ

〒457-0863 名古屋市南区豊三丁目38番10号

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。この取扱説明書では、お使いになる人や他の人への危害・物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次の表示と記号を使って説明しています。表示と記号の意味をよく理解したうえで本文をお読みください。

【表示の意味】

	危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが予想される内容を示しています。
	警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、重傷を負う可能性が予想される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性および物的障害の発生が想定される内容を示しています。

【記号の意味】

	警告・注意を促す内容があることを告げるものです。
	禁止の行為であることを告げるものです。
	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。



* SGマーク制度は、車いすの欠陥によって発生した人身事故に対する賠償制度です。
 * 安全性が確保されています。
 * 誤使用を防ぐために取扱説明書がついています。
 * SGマーク付き製品の欠陥により人身事故が起きた場合は、賠償制度が実施されます。

⚠️ 危険

スピードを出さないでください。
 スピードが出ているときに急カーブを走行したり、急ブレーキをかけたりすると、転倒して事故やけがにつながる恐れがあります。



自走用であっても自力で操作不可能な坂道では、介助者を伴ってください。

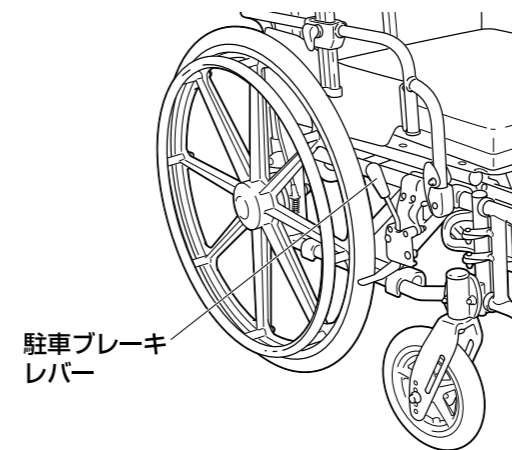
急な下り坂で介助するときは、後ろ向きにゆっくり降りてください。また、介助用ブレーキレバーを使いスピードを落としてください。

後車輪とキャスター車輪は、同じ仕様の部品を使用し、それぞれ座高に対応する位置に取り付けてください。
 後車輪とキャスター車輪の取り付け高さを誤ると、腰掛けた場合に転倒して、事故やけがにつながる恐れがあります。

⚠️ 警告

乗り降りの際にはステップに乗らないでください。
 後車輪が浮き上がり、転倒する恐れがあります。

乗り降りの際および停止時には、必ず両輪の駐車ブレーキをかけてください。
 ブレーキがかかっていないと車いすが動きだし、衝突や使用者の転倒事故につながる恐れがあります。ブレーキレバーは、ブレーキレバーが止まる位置まで確実に操作してください。



乗り降りの際にはブレーキレバーに体重をかけないでください。
 レバーが破損・変形し、転倒する恐れがあります。

介助ブレーキは、介助者がブレーキレバーを左右同時に握ってかけてください。
 転倒して事故やけがにつながる恐れがあります。

アームレストフレームやフットレストを持って車いすを持ち上げないでください。
 アームレストやフットレストのロックが外れ、けがをする恐れがあります。

車いすを駐車するときは、水平で平坦な場所に駐車してください。
 坂道等の傾斜のある場所では、駐車ブレーキを使用しても車いすが動く場合があり、転倒など事故につながる恐れがあります。

タイヤの磨耗に注意してください。
 タイヤが磨耗すると、駐車ブレーキが効かなくなる場合があります。ブレーキの効き具合が悪いときは、販売店に調整の依頼をしてください。

各部を調整する場合は平坦な場所で行ってください。
 車いすが動きだし、事故やけがにつながる恐れがあります。

ウイングアームレストを跳ね上げた状態で走行しないでください。
 使用者が車いすから落ちて、事故やけがにつながる恐れがあります。

ウイングアームレストを戻した後は、必ずロックされたことを確認してください。
 使用中に外れると、事故やけがにつながる恐れがあります。


スイングアウトフットレストを開いた状態で走行しないでください。
 事故やけがにつながる恐れがあります。


スイングアウトフットレストを閉じた後は、必ずフックで固定されたことを確認してください。
 事故やけがにつながる恐れがあります。


乗り降りの際に、上げたステップに足が当たらないよう注意してください。
 けがをする恐れがあります。

座高の調節は、販売店へご依頼ください。



⚠️ 注意


- 


この車いすは1人用です。2人以上の乗車や、目的以外での使用はしないでください。
- 


フレームに最大体重（積載物も含む）が記載されている場合は、体重制限を守って使用してください。
- 


車いすをたたむときは、シートパイプを握らないでください。手をはさみ危険です。



- 


走行中、足がフットレストから落ちないようにしてください。
- 

走行中、身体を乗り出さないでください。走行の安全を損ない危険です。
- 



操作中に異常な音や振動が発生したら、即時に使用を中止してください。事故やけがにつながる恐れがあります。
- 


ステッププレートで足を上げる場合は、素足では行わないでください。けがをする恐れがあります。
- 


ステップの下には足を入れないでください。足を地面でこすったり、ステップや前輪キャスターなどに足をぶつけてけがをする恐れがあります。
- 


アームレストを跳ね上げて乗り降りする際は、アームレストを最後まで跳ね上げたことを確認してから行ってください。アームレストが身体、衣服に引っかかり、けがをする恐れがあります。
- 

折りたたんだ車いすを開く時に、シートパイプを握って押し下げないでください。手をはさみ危険です。




- 


使用する前に後車輪・キャスター車輪・駐車ブレーキ等のネジを点検し、ゆるんでいるときは増し締めをしてください。
- 


アームレストパッドの高さを調整した後は、必ずロックされたことを確認してください。
- 

ステップ下面は地上より50mm以上あげた状態で使用してください。
- 

暖房器具にタイヤを近づけないでください。タイヤの表面が溶けたり、破損したりすることがあります。破損した場合は乗車をやめて必ず修理してください。


- 

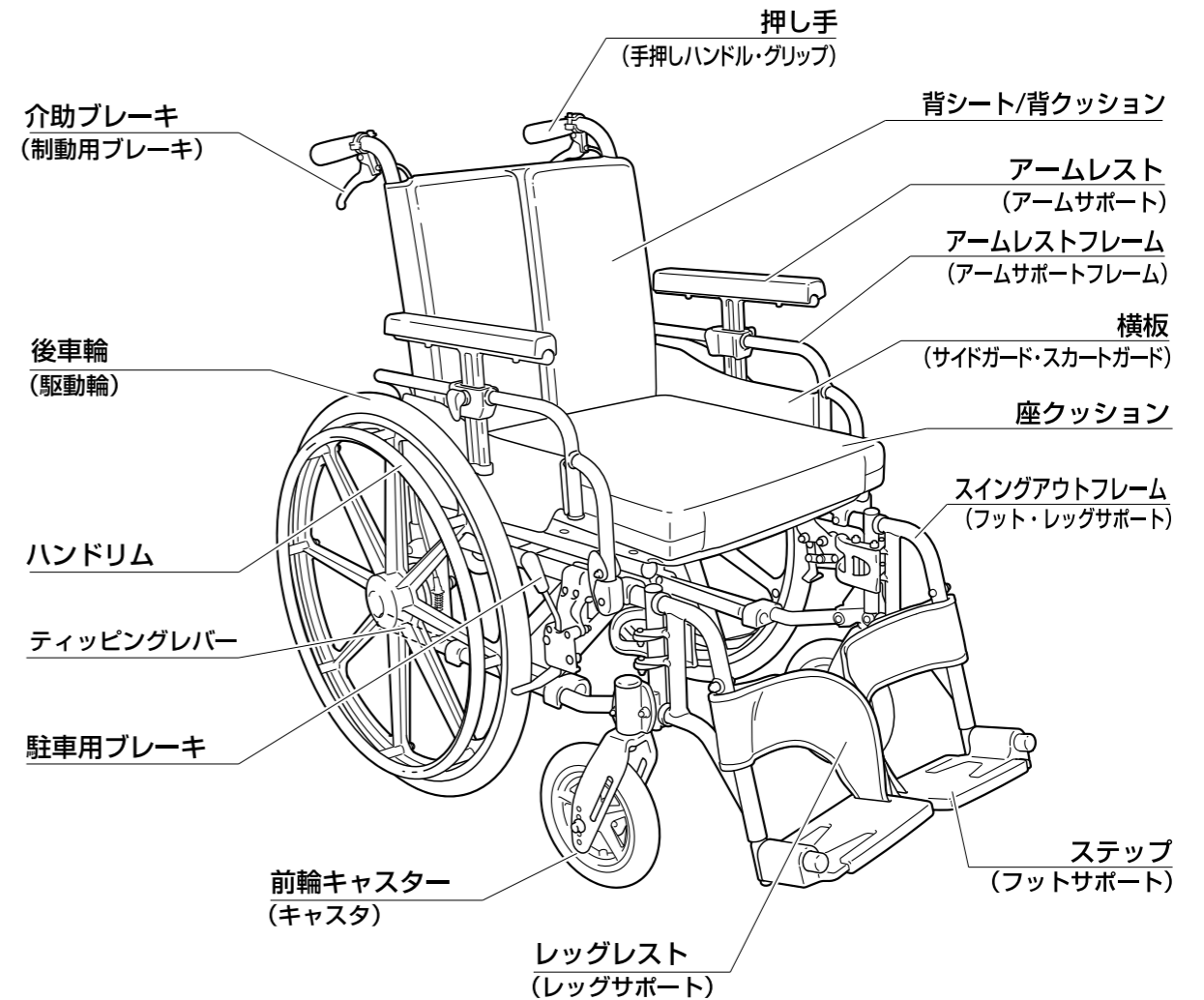
段差のあるところを上り下りするときは、車いすに衝撃を与えないように、ゆっくり上り下りしてください。車いすの破損や故障の原因となります。
- 

車いすを自動車に載せる際および自動車から降ろす際は、車いすに大きな衝撃を与えないよう、ゆっくりと静かに降ろしてください。車いすの破損や故障の原因となります。
- 

シンナー、ベンジン等の溶剤は、使用しないでください。製品を傷める恐れがあります。

各部のなまえ

下図は標準仕様車です。車いすによっては、装備や形状が異なります。



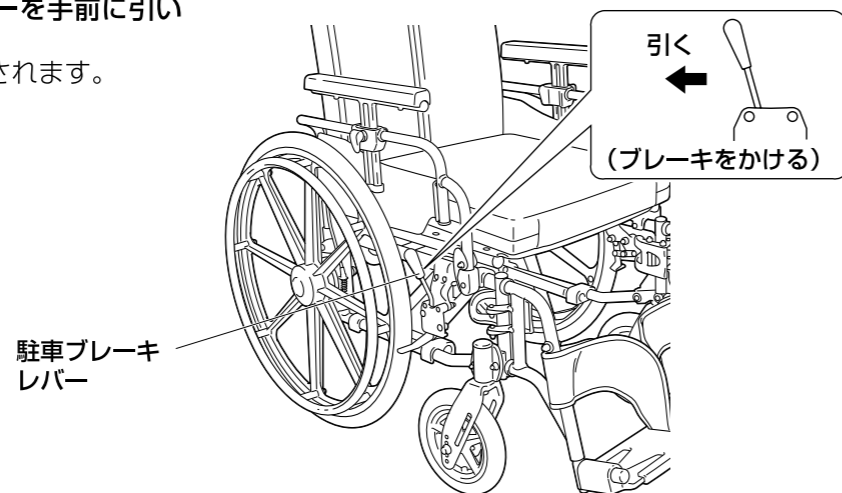
() 内の名称はJIS規格に準じた呼称です。

ブレーキのかけかた

● 駐車ブレーキのかけかた

⚠警告	<ul style="list-style-type: none"> ・乗り降りの際および停止時には、必ず両輪の駐車ブレーキをかけてください。ブレーキがかかっていないと車いすが動きだし、衝突や使用者の転倒事故につながる恐れがあります。ブレーキレバーは、ブレーキレバーが止まる位置まで確実に操作してください。 ・乗り降りの際にはブレーキレバーに体重をかけないでください。レバーが破損・変形し、転倒する恐れがあります。 ・車いすを駐車するときは、水平で平坦な場所に駐車してください。坂道等の傾斜のある場所では、駐車ブレーキを使用しても車いすが動く場合があり、転倒など事故につながる恐れがあります。 ・タイヤの磨耗に注意してください。タイヤが磨耗すると、駐車ブレーキが効かなくなる場合があります。ブレーキの効き具合が悪いときは、販売店に調整の依頼をしてください。
-----	--

使用者が、左右の駐車ブレーキレバーを手前に引いてかけます。ブレーキレバーを前方に戻すと解除されます。

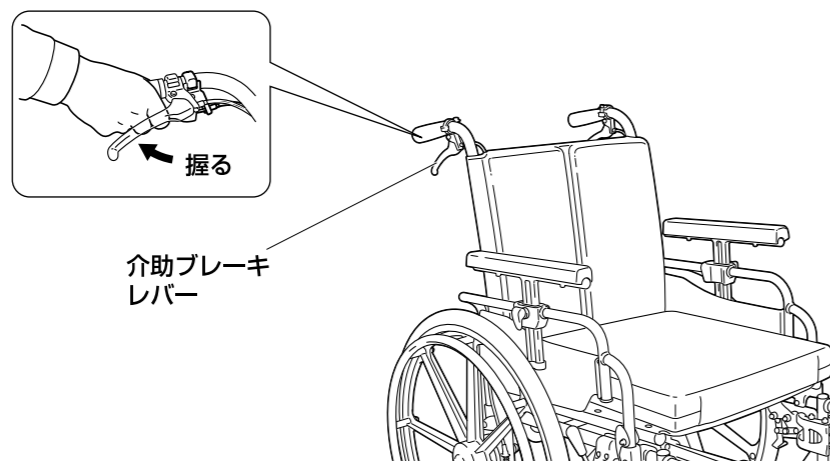


● 介助ブレーキのかけかた

⚠危険	<ul style="list-style-type: none"> ・スピードを出さないでください。スピードが出ているときに急カーブを走行したり、急ブレーキをかけたりすると、転倒して事故やけがにつながる恐れがあります。 ・急な下り坂で介助するときは、後ろ向きにゆっくり降りてください。また、介助ブレーキを使いスピードを落としてください。
-----	---

⚠警告	ブレーキは、介助者がブレーキレバーを左右同時に握ってかけてください。転倒して事故やけがにつながる恐れがあります。
-----	--

介助者が、左右の押し手下側の介助ブレーキレバーを握ってかけます。ブレーキレバーを放すと解除されます。

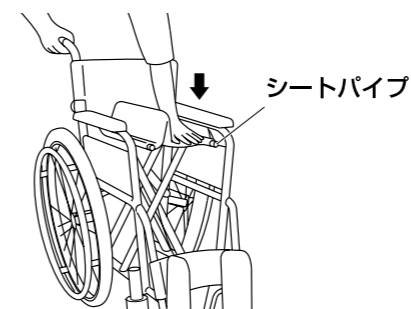


車いすの開きかた/たたみかた

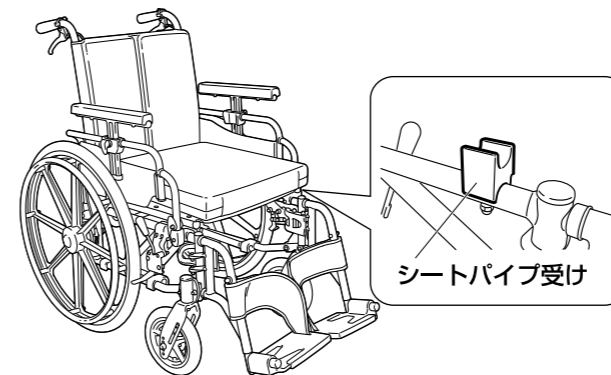
⚠注意	<ul style="list-style-type: none"> ・シートパイプを握って押し下げないでください。手をはさんでけがをする恐れがあります。 ・必ずブレーキをかけて操作を行ってください。
-----	--

● 開きかた

- 1 駐車ブレーキのレバーを引いて、両輪のブレーキをかけます。
- 2 シートパイプの両端を手の平で押し下げます。
*シートパイプを握らないでください。
*シートパイプの中央付近を押し、先端は押さないでください。



- 3 シートパイプ受けに、シートパイプがしっかりとハマっていることを確認します。
*しっかりとハマっていない場合は、シートパイプの中央付近を押しはめてください。押し時は、シートパイプの先端を押さないでください。フレームが変形する恐れがあります。

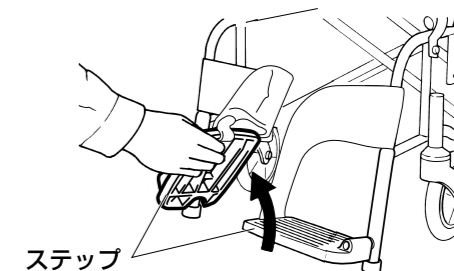


*シートパイプ受けにシートパイプをはめ込むことで、ガタつきをなくす構造になっています。

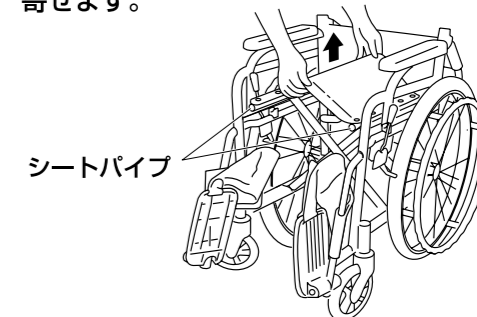
- 4 背シートカバーと座クッション（オプション）を取り付けます。

● たたみかた

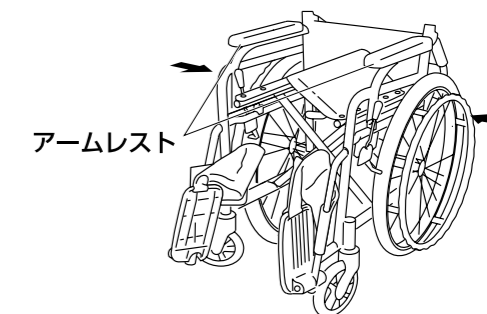
- 1 駐車ブレーキのレバーを引いて、両輪のブレーキをかけます。
- 2 背クッションと座クッション（オプション）を取り外します。
- 3 ステップを両側とも上げます。



- 4 シートの前後を持ち上げ、シートパイプを引き寄せます。



- 5 アームレストを両側から押し、座シートを折りたたみます。
*車いすをたたむときは各部品が可動しますので、手をはさまないように注意してください。



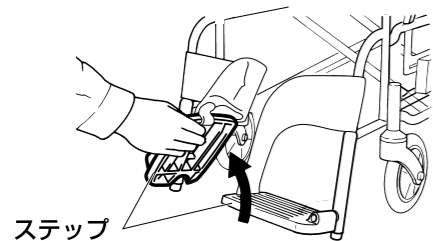
乗り降りのしかた

△警告

- ・乗り降り時は、必ず駐車ブレーキをかけてください。車いすが動きだし大変危険です。
- ・車いすに乗り移る際、ステップの上には乗らないでください。転倒し、けがをする恐れがあります。
- ・上げたステップに足が当たらないよう注意してください。けがをする恐れがあります。

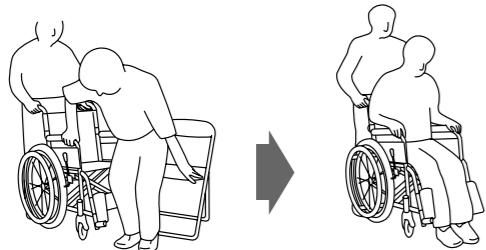
● 乗るかた

- 1 駐車ブレーキのレバーを引いて、両輪のブレーキをかけます。
- 2 ステップを両側とも上げます。
*ステップの上には乗らないでください。転倒し、けがをするおそれがあります。
*上げたステップに足が当たらないよう注意してください。けがをするおそれがあります。



ステップ

- 3 必要に応じて、「スイングアウトフットレストの開閉・取り外し」(P.9参照)や、「アームレストフレームの跳ね上げ」(P.9参照)を行います。
- 4 車いすをしっかりと保持しながら、ゆっくり乗り移ります。

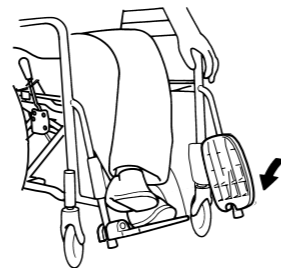


車いすを保持し腰を浮かせる

ゆっくり乗り移る

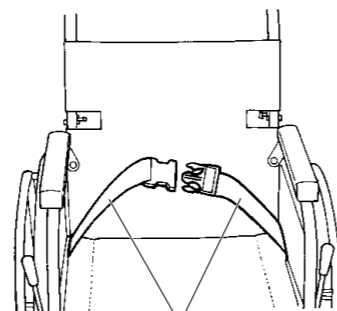
- 5 「スイングアウトフットレストの開閉・取り外し」や、「アームレストフレームの跳ね上げ」を行っていた場合は、元に戻します。

- 6 ステップを降ろして両足を乗せます。



- 7 シートベルト(オプション)を締めます。

*体格に合わせてシートベルトを調整し、座位をしっかりと安定させてください。



シートベルト
しっかりと締める

● 降りかた

「乗るかた」と逆の要領で行なってください。

スイングアウトフットレストの開閉・取り外し

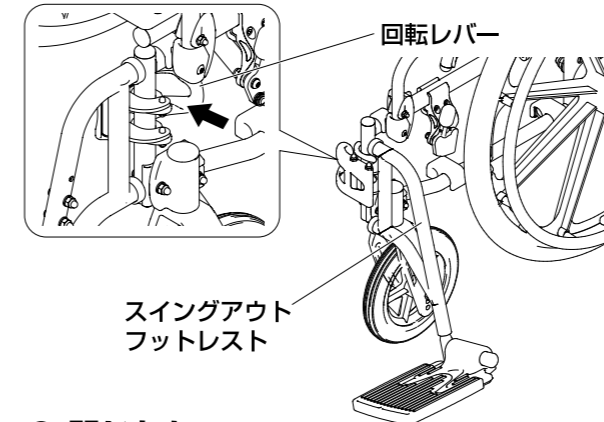
フットレストをワンタッチで開閉することができます。車いすへの乗り降りの際、フットレストが脚にぶつかることなくスムーズに移乗することができます。

△警告

- ・スイングアウトフットレストの開閉・取り外し・取り付けは、必ず両輪の駐車ブレーキをかけてから行なってください。
- ・スイングアウトフットレストを持って車いすを持ち上げないでください。部品が外れて使用者が転倒、落下すると、事故やけがにつながるおそれがあります。

● 開きかた

回転レバーを矢印の方向に押し、そのままフットレストを外側に回転させて開きます。



スイングアウトフットレスト

● 閉じかた

スイングアウトフットレストを内側に回転させて閉じます。閉じた後、スイングアウトフットレストが完全にロックされたことを確認します。

*スイングアウトフットレストを閉じるときに、指をはさまないように注意してください。

● 取り外しかた

スイングアウトフットレストを外側に開いた状態で、垂直に引き上げます。

● 取り付けかた

- 1 車体フレーム側の2つのピンにスイングアウトフットレスト側の回転軸穴(2箇所)を合わせてはめ込みます。

- 2 スイングアウトフットレストを内側に回転させて閉じます。閉じた後、スイングアウトフットレストが完全にロックされたことを確認します。
*スイングアウトフットレストを閉じるときに、指をはさまないように注意してください。

*スイングアウトフットレストを開いた状態で、スイングアウトフットレストに力を加えないでください。金具が変形し故障の原因となります。

アームレストフレームの跳ね上げ

アームレストフレームをワンタッチで後方へ跳ね上げることができます。ベッド等と車いすの間の移乗などがスムーズに行なえます。

△注意

- ・操作は、必ず両輪の駐車ブレーキをかけてから行なってください。
- ・アームレストフレームを持って車いすを持ち上げないでください。部品が外れて使用者が転倒、落下すると、事故やけがにつながるおそれがあります。
- ・アームレストを跳ね上げて乗り降りする際は、アームレストを最後まで跳ね上げたことを確認してから行ってください。アームレストが身体、衣服に引っかかり、けがをする恐れがあります。

● 跳ね上げかた

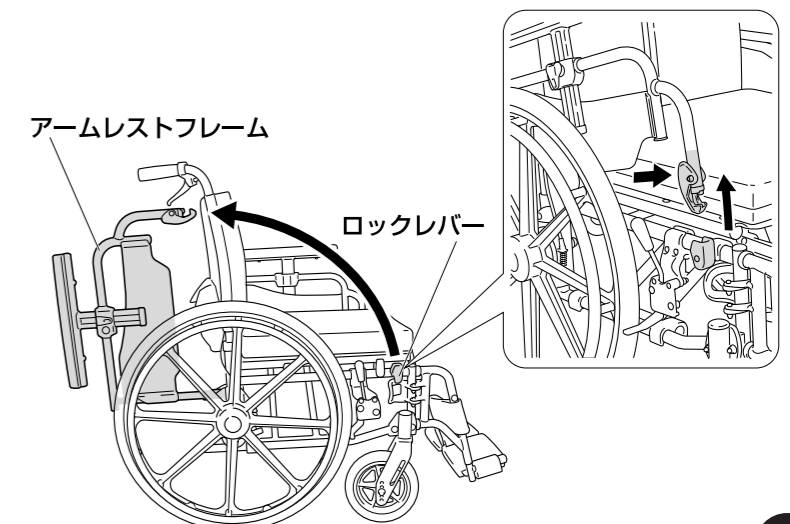
ロックレバーを押しながら、アームレストフレームを後方へ跳ね上げます。

*アームレストフレームを上げた状態で、アームレストフレームに力を加えないでください。フレームが変形し故障の原因となります。

● 戻しかた

アームレストフレームを下ろし、完全にロックされたことを確認します。

*アームレストフレームを下ろすときは、身体をはさまないように注意してください。
*アームレストフレームを下ろした後、アームレストフレームが完全にロックされていることを確認してください。



アームレストフレーム

ロックレバー

警告 各部の調節は必ず駐車ブレーキをかけてから、平坦な場所で行なってください。

座面の高さ調節

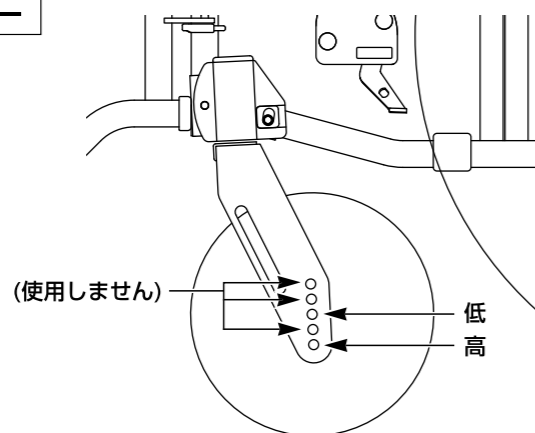
危険 後車輪と前輪カスターは、必ず対応する高さ設定に調節してください。後車輪と前輪カスターの調節を誤ると、腰掛けた場合に転倒する恐れがあります。使用者を乗せたまま調節を行なうのは、絶対におやめください。

座面の高さを2段階（低・高）[25mmピッチ]に調節することができます。座面の高さ調節は、後車輪と前輪カスターの取り付け位置をそれぞれ対応する高さ（低、または高）に調節することで行ないます。

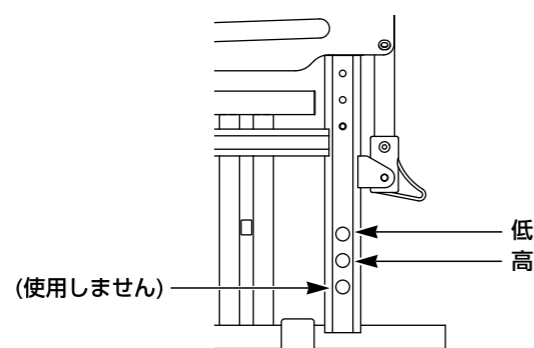
* 後車輪と前輪カスターは、それぞれ左右同じ高さに調節してください。
* 座面の高さを変更したら、必ず駐車ブレーキの取り付け位置も併せて調節してください。

前輪カスターと後車輪の調節範囲

前輪カスター

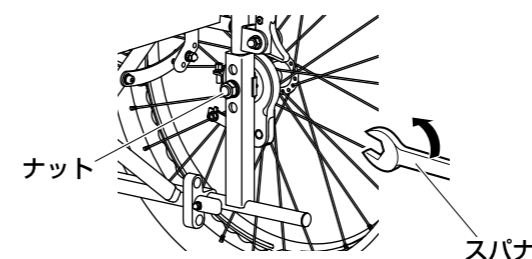


後車輪



後車輪の高さを変える

- 作業しない側のブレーキのみかけます。
- 後車輪の車軸内側のナットをスパナなどで回して外し、後車輪を引き抜きます。
*このとき、ドラムブレーキも一緒に取り外します。



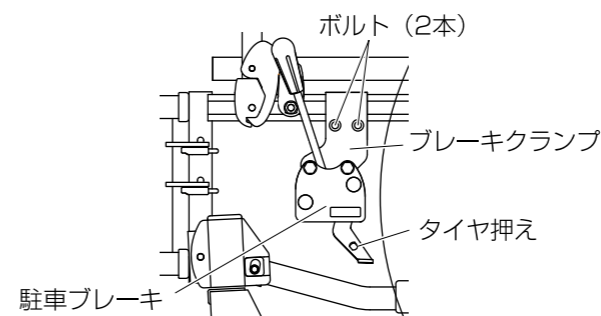
- 後車輪を取り付ける穴を決め、後車輪の車軸をドラムブレーキ等に通し、本体フレームに差し込みます。
- 車軸内側にナット等を取り付け、しっかりと締め込みます。
- 後車輪がガタつかず、しっかりと固定されていることを確認します。

* 反対側も同じ高さに調節してください。

駐車ブレーキの取付位置を調節する

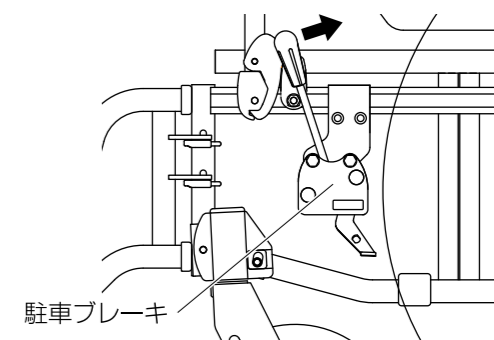
* 座面の高さを調節したら、後車輪と駐車ブレーキ間の距離が変わります。必ず駐車ブレーキの取付位置を調節してください。
* ブレーキの効き具合を随時点検し、効きが悪い場合は、ブレーキの取付位置を調節してください。

- 駐車ブレーキのクランプを固定しているボルト（2本）をレンチなどでゆるめます。



- 駐車ブレーキをクランプごと動かし、駐車ブレーキの位置を調節します。
* 駐車ブレーキをかけたときに、タイヤに駐車ブレーキのタイヤ押えが当たり、後車輪がしっかりと止まる位置に調節してください。
- ボルト（2本）を締め、駐車ブレーキがガタつかずしっかりと固定されていることを確認します。

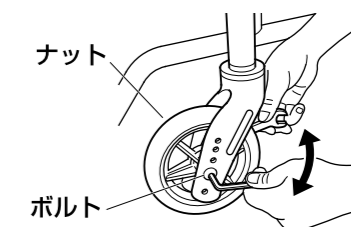
- 駐車ブレーキをかけ、後車輪がしっかりと止まることを確認します。



* 後車輪がしっかりと止まらない場合、または駐車ブレーキが効きすぎる場合は、再度調節してください。
* 反対側も同様に調節してください。

前輪カスターの高さを変える

- 駐車ブレーキレバーを引いて、両輪のブレーキをかけます。
- 前輪カスター軸のナットをスパナなどで回して外し、ボルトを抜きます。



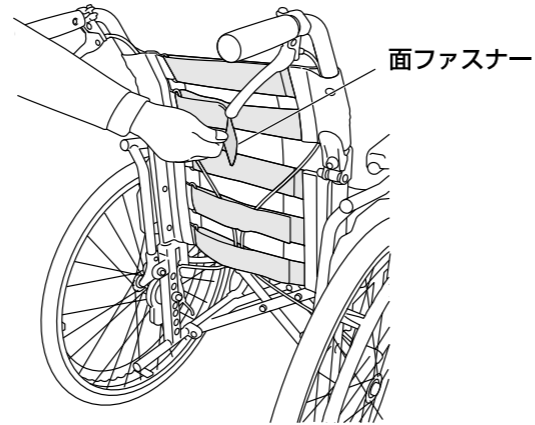
- 前ページ「後車輪と前輪カスターの調節範囲」に従って、後車輪と同じ高さ設定になる取付け穴にボルトを差し込み、しっかりとナットを締め込みます。
- 前輪カスターがしっかりと固定されていることを確認します。また、前輪カスターがスムーズに回転することを確認します。

* 反対側も同じ高さに調節してください。

背シートの張り具合調節

*背シートの張り具合を随時チェックし、必要に応じて調節してください。

- 1 駐車ブレーキのレバーを引いて、両輪のブレーキをかけます。
- 2 面ファスナーをはがし、背シートの張り具合を調節した後、もう一度面ファスナーをしっかりと貼り合せます。
*手で背シートを押し、確実に固定されていて、張り具合が適切であることを確認してください。
- 3 背クッションを取り付けます。

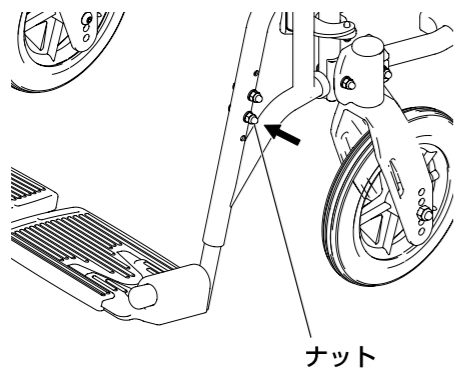


ステップの高さ調節

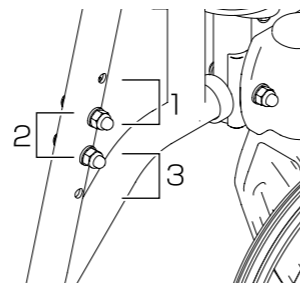
△注意 ステップは、地上より50mm以上あげた状態で使用してください。

ステップの高さを3段階（高・中・低）に調節することができます。使用者に合わせて、ステップの高さを適切な位置に調節してください。

- 1 駐車ブレーキのレバーを引いて、両輪のブレーキをかけます。
- 2 穴ボルト(2本)の頭をレンチで固定しながら、反対側のナット(2本)をスパナなどで回して外し、穴ボルトを取り外します。



- 3 ステップを適切な高さに調節し、穴ボルトを通す穴を決めます。
*穴の選び方は以下の3とおりです。



- 4 手順3で決めた穴に穴ボルトを通し、穴ボルトの頭をレンチで固定しながら、反対側のナットを締め付けて固定します。
- 5 反対側のステップも同じ高さに調節します。
*しっかりと固定されていることを確認してください。

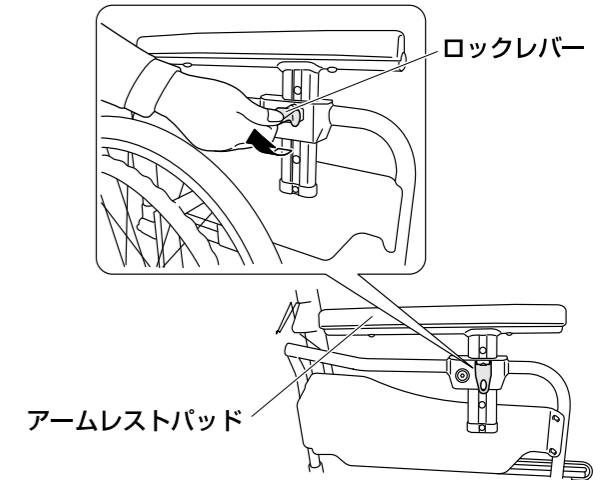
アームレストパッドの高さ調節

△注意

- ・高さ調節をした後は、必ず固定されたことを確認してください。
- ・調節中にアームレストが下がり、アームレストフレームとアームレストパッドの間に指をはさまないように注意してください。けがをするおそれがあります。
- ・アームレストを持って車いすを持ち上げないでください。

- 1 駐車ブレーキのレバーを引いて、両輪のブレーキをかけます。
- 2 ロックレバーを引いてロックを解除します。
- 3 アームレストパッドの高さを調節し、希望の高さでロックレバーを押し下げます。
- 4 ロックレバーがいっぱいまで下がり、アームレストパッドが確実に固定されていることを確認します。

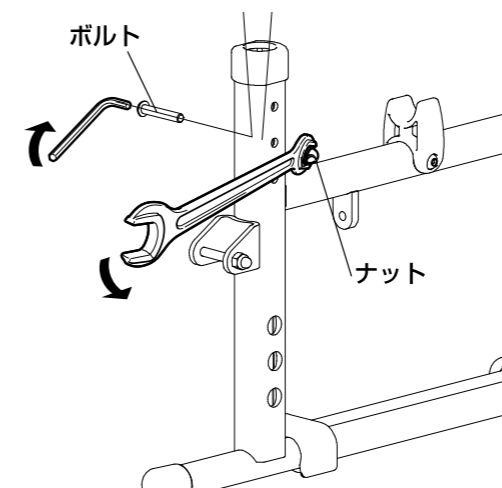
*反対側も同じ高さに調節してください。
*調節後、アームレストがしっかりと固定されていることを確認してください。



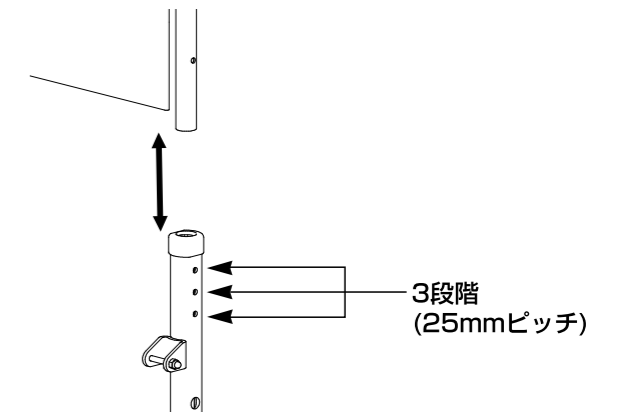
押し手の高さ調節

*介助者の身長に合わせて、押し手の高さを3段階に調節することができます。

- 1 駐車ブレーキレバーを引いて、両輪のブレーキをかけます。
- 2 背クッションを取り外します。
- 3 背シートパイプ内側のナットをスパナで外し、外側のボルトを六角レンチで取り外します。(左右とも取り外します。)



- 4 押し手の高さを調節し、希望の高さの穴にボルトをねじ込み、六角レンチで締め付けます。(左右とも締め付けます。)
*押し手の高さは3段階（25mmピッチ）に調節することができます。



- 5 ナット、ワッシャー類を取り付けます。
- 6 反対側も同じ高さに調節してください。調節後、押し手がしっかりと固定されていることを確認してください。
- 7 背シートクッションを取り付けます。

保守・点検

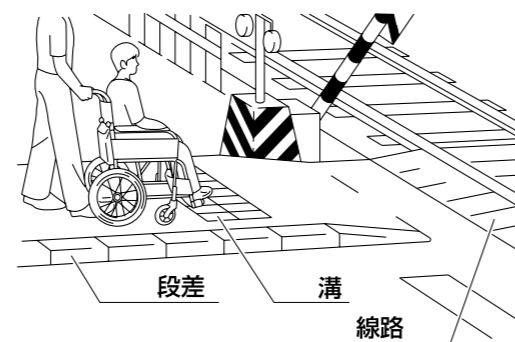
乗車前には必ず下記の事項を点検・整備し、常に安全な状態で使用してください。
 * 修理・調整は必ず販売店へ依頼してください。



- ・ブレーキの効き具合が悪いときは、タイヤの空気圧を調整してください。それでもブレーキの効き具合が悪いときは、販売店に調整の依頼をしてください。
- ・パンクの場合は、販売店または最寄りの自転車店におたずねください。また、パンクしたまま乗らないでください。
- ・使用者の脚の長さに合わせて、ステップを適切な高さに調節してください。(地上より50mm以上あげてください。)
- ・車いすは熱気、湿気に弱いため、湿気の多い所、外部、自動車内での長期放置や、水のかかる場所には放置しないでください。

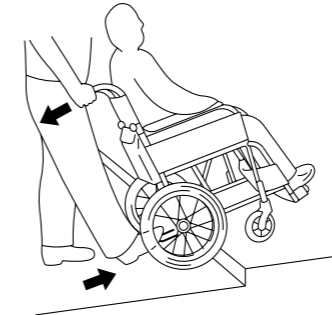
走行上のご注意

- ・車いすは歩行者として扱われています。車道を通らず、必ず歩道を通ってください。
- ・歩道の段差や凹凸のある路面を走行するときは、前めりにならないよう充分注意してください。
- ・溝や踏切の線路による落輪、前輪キャスターの挟み込みには充分注意してください。
- ・踏切を通過するときは、まわりの安全を確認した上で、停車せずに通過してください。
- ・傾斜地ではスピードが出やすいため、走行には充分注意してください。



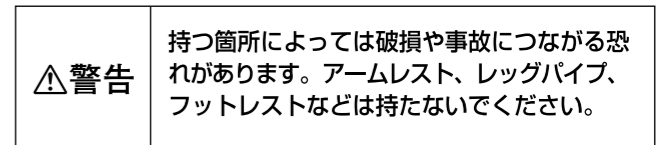
段の上りかた

- 1 足元のティッピングレバーを押し出し、押し手を手前に引くようにして、前輪キャスターを段の上にあげます。



- 2 後車輪を段に突き当て、車いすを押しながら押し手を持ち上げます。
 *無理な力による段差の乗り越えは、フレームの破損につながります。

車いすに乗ったまま持ち上げる場合



車いすに乗ったまま持ち上げるときは2人以上で行ない、使用者の上半身を支え、フレーム下部を両側からしっかり持って持ち上げます。

